

氷見市立明和小学校



希望にもえて

昭和38年7月1日に、論田小学校と谷屋小学校が統合され、明和小学校となって57年間。校名「明和」に込められた思いを受け、子供たちは明るく和やかに励まし合って学んできました。「緑の丘に 光る窓」と校歌に歌われているように、緑豊かな高台に校舎があります。自然や地域の伝統文化に触れる体験が、素直な心を育みます。

いつも温かく協力を惜しまない地域の方や保護者の皆様に支えられてきました。今年度は特別に、地域の方が、「地すべり防災教室」「雅楽鑑賞会」等、子供たちと一緒に学ぶ機会をつくっていただきました。

「最後の年」のテーマは「感謝」です。自分を育ててくれた人、もの、こと、すべてに「ありがとう」を伝え、「ありがとう」の幸せエネルギーを大きな力にして、「西の杜学園」に進みます。校歌の「若い命進もうよ 希望にもえて 希望にもえて」の歌詞を胸に、新しい仲間と新たな一歩を踏み出します。

氷見市立久目小学校



新たな歴史を！「ふるさと久目」に誇りをもって

平成2年4月、池田小学校・岩瀬小学校の2校が統合して開校した久目小学校は、平成9年に赤毛小学校との統合を経て、令和2年3月の閉校とともに30年間の歴史に幕を閉じます。

氷見市の南西部に位置した校区は、上庄川が流れる里山に田園風景が広がり、豊かな自然環境や特産品等を生かした体験活動を行うための学習素材が豊富です。「子供は地域の宝」と捉えている地域の人々は、学校の教育活動に対して支援を惜しみません。

本校は、地域の協力を得て、ニジマスつかみどり、花鉢プレゼント、そば打ち等の特色ある活動を通じて、「ふるさと久目」に誇りを持ち、心豊かでたくましい子供が育つようにふるさと教育を推進してきました。令和2年4月から本校は、西部中学校・明和小学校・速川小学校と統合し、義務教育学校「西の杜学園」として開校します。県内初となる小中一貫校として、その一歩を踏み出して新たな歴史を築いていきます。

氷見市立速川小学校



ふるさと速川の愛に包まれて

速川小学校は、平成4年に床鍋小学校と小久米小学校が統合した学校です。全校児童28名は、**㊤**たらく子 **㊦**さしい子 **㊧**んがえる子 **㊨**かりあう子 を目指して仲よく元気に活動しています。

地域の方は子供を、学校をそれは大事にしてください。子供たちにふるさとのよさを感じてほしいという強い願いから、地元の特産品「ミオスギ」の苗作り、原木へのシイタケの菌打ち、虫送り、三世代交流稲作、わら細工教室、地元で採れる山菜や野菜を使った郷土料理教室、雪吊り体験教室等、様々な体験の場を提供していただきます。閉校を控えた今年度は地域の方も参加しての運動会での人文字、田んぼアートでの「I♡速川」、文化祭での歌の交流と一層地域の愛を感じる一年でした。

地域の自然に触れ、温かい愛に包まれて育った速川っ子には、県内初となる義務教育学校「西の杜学園」でも活躍することを期待しています。